



滑川市早月加積地区 2012年7月1日

「明日を考える会」結成 滑川・早月加積の有志



少子高齢化などの影響で地域の連帯感が希薄になる中、住民自らの手で街の活性化を図ろうと、滑川市早月加積地区の有志約40人が1日、「明日の早月を考える会」（通称・早月会）を結成した。教育文化、福祉健康など四つの部会を設け、地区が抱える課題の解決や振興策に取り組んでいく。

昨年11月に同地区町内会連合会の歴代会長会議が開かれた際、住民同士の絆づくりや地域振興の必要性が議論された。会議出席者を中心に地元の政治、経済、教育など各分野で活躍してきた人材が集まり、発足の準備を進めてきた。

設立総会が1日、滑川市民交流プラザであり、郷土史編纂（へんさん）▽教育文化▽福祉健康▽安全環境の4部会を設置。地域防災や高齢・障害者への生活支援をはじめ、文化財の保存、伝統芸能の継承、にぎわい創出に向けたイベントの開催など、多彩なテーマに分担して取り組むことにした。会員からは公民館などと連携を図ることや、女性・若手会員の加入を促す意見が出された。

役員選出で代表に就いた元県議の八倉巻忠夫さんは「郷土の活性化に向け、自分たちでやれることはやるという気構えが大切。忌憚（きたん）ない意見を出し合うことで、実りの多い会にしていきたい」と話した。

▽副代表＝栗三直隆、前田新作、岩城晶巳、近堂昭夫